



編集・発行所
福井県教職員組合
福井市大手2丁目22-28
TEL 23-1887
郵便番号 910-8544
定価70円(郵送料共)
毎購読料(含組合費)

大和印刷所

★全国教研・提案レポート紹介 1/4面
★今春、ご退職の皆様へ 教職員共済 4面

第69次

全国教研 in 広島

特集

スローガン

平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立

テーマ

憲法・子どもの権利条約を生かす教育改革を実現するため、
ゆたかな学びを保障するカリキュラムづくりをすすめよう



オープニングイベントの様子

1月24日から3日間の日程で「第69次日教組教育研究全国集会」が、広島県で開催されました。
集会のオープニングでは、「被爆ピアノに想いをよせて」として、広島で被爆したピアノによる公演がありました。全体集会では、岡山真砂樹執行委員長が挨拶をされました。ゆたかな学びを保障するために、点数目標にむけて子どもを追い立てるの

ではなく、子どもの視点に立ち、学びのあり方を問い直し、創造的な教育活動を推進していくことの重要性が共有されました。
その後、女優のサヘル・ローズさんによる「出会いこそ、生きる力」と題した記念講演が行われました。戦争によって孤児となり、義母とともに来日したが、貧困やいじめにあい自死することまで考えたという壮絶な生い立ちについて話されました。その中でも心優しい人たちとの出会いによって、今があるということをお話され、平和や人権について考えさせられる内容でした。教職員は「子どもの人生に大きな影響を与えている」「子どもが安心して頼ることができる存在になってほしい」というメッセージが印象的でした。
分科会では、各県の教育実践をもとに活発な議論が交わされました。



記念講演の講師：サヘル・ローズさん

この研究集会には、全国各地より延べ9千人の組合員が参加しました。福井県からは、司会者1人・提案者7人を含む19人が参加し、全国の教育実践報告や討論を通して教育研究活動の意義を確認しました。
福井県の提案内容は、次頁以降に掲載しました。詳細につきましては、年度末に分会に配布する『福井の教育67集』をご覧ください。またご希望の方に、下表の全国教研の分科会レポート集を差し上げます。

★配布可能な分科会レポート集★

- 1.日本語教育(作文・話しことば)(文学・説明文・言語)
- 2.外国語活動(小学校)(中学校・高校)
- 3.社会科教育(歴史認識)(現状認識)
- 4.数学教育(小学校)(中学校・高校)
- 5.理科教育
- 6.美術教育
- 7.音楽教育
- 8.家庭科教育
- 9.保健・体育(保健)(体育)
- 11.自治的諸活動と生活指導(小学校)(中学校・高校)
- 12.幼年期の教育・保育と連携・接続
- 13.人権教育
- 15.国際連帯・多文化共生の教育
- 16.両性の自立と平等をめざす教育
- 17.子ども・教職員の安全・健康と環境・食教育(環境・公害)(食教育)(医療)
- 18.平和教育
- 19.メディア・リテラシー教育と文化活動(学校・地域の文化活動)
- 20.高等教育・進路保障と労働教育
- 22.地域における教育改革とPTA(民主的な学校づくり)(過密・過疎、へき地の教育)
- 24.総合学習と防災・減災教育(ものづくり・生活・環境の中から)(人権・平和・いのちの視点から)

※()内は、小分科会名

※ご希望の方は、県教組教文部までご連絡ください。先着順にお渡します。

(県教組担当:山田、渡邊)



福井県の提案レポート紹介

☆第9分科会 保健・体育 「『歯と口の健康教育』を音声表現力の向上につなげる実践研究 ～養護教諭を核に、チームで進める「口福度日本一プロジェクト」～」

勝山支部 荒土小分会 安堂 潤子 さん

歯や口の健康保持にとどまらず、口を使った音声表現力を向上させる指導へと発展させる独自性のある発表でした。まずは各学校の養護教諭や、学校歯科医をはじめとした地域学校保健委員会などの関係機関と取り組んだ具体的な実践が紹介されました。どんなに歯をみがいてもむし歯になる児童、治療に行けない児童への指導についての質問では、保護者の事情などもあるが、まずは生活習慣にふれて話し、担任の先生から状況を聞いてもらったり、養護教諭が直接話をしたりすることもあるとのことでした。また「歯と口の健康教育」を音声表現力の向上につなげる実践として、音楽専門家による合唱指導、演劇指導者による演劇ワークショップなどの報告がされました。その中で「健康な身体は健康な気持ちから」「よい気持ちはよいお口から」というメッセージが印象に残りました。



☆第9分科会 保健・体育 「楽しさや喜びを味わいながら、主体的に課題解決をめざす子の育成 ～うれしい！楽しい！運動大好き！～「わかる」「できる」「かかわり合う」子の育成～」

福井支部 日之出小分会 中島 和也 さん

6年生でのボール運動（ネット型 ソフトバレーボール）の実践についての発表でした。この実践には、児童が運動をすることで「楽しさ」を感じたり「できる喜び」を味わったりできるよう、様々な工夫がありました。例えば、主運動につながるような準備運動を取り入れたこと、スモールステップをふんだ練習方法を用意したこと、児童と話し合いながらルールの変更を適宜行ったことなどが挙げられます。授業中の児童の様子を交えながら紹介したところ、参加者からは「どんなボールを使用したのか」「ルールについてはどのような変更があったのか」などの質問がありました。その後の「球技の特性にふれる実践」という柱のもとでの討議では、児童がネット型の「楽しさ」を感じたり、技能を高めたりすることにつながるアイデアが、参加者から活発に出されました。また、目の前の児童の姿を出発点とした授業づくりが大切だという認識も共有されました。



☆第10分科会 技術・職業教育 「地元の繊維産業をもとにした教材開発とその実践(経過報告と今後の予定)」

勝山支部 勝山南部中分会 山口 忠範 さん

「持続可能な勝山市」にむけて、地元の産業である絹織物の可能性を探った壮大な計画です。養蚕・製糸までを技術科の授業の中で展開できないかという教材開発・実践についての報告がありました。地域人材を効果的に活用し、様々な場面で協力してもらいながら蚕を育てた様子について話されました。「生物育成」だけでなく、飼育箱を作り、糸繰り機を制御するためにプログラミングを活用するなど、他領域にわたる教材で、魅力的な実践でした。蚕が病気になったり、繭を作るのをやめてしまったりという失敗がありましたそこから学ぶことが「深い学び」につながるといことが話し合われました。多くの質問や意見が交わされ、技術科こそが「主体的・対話的で深い学び」を実現してきたということを共有・確認されました。技術教育の価値を見直す「深い学び」のある分科会となりました。



☆第14分科会 インクルーシブ教育 「社会参加を見すえ 学級との連携を重視した自立活動のあり方 ～通級指導教室でのAへの実践～」

鯖江支部 鳥羽小分会 田中 裕子 さん



相手の気持ちを押し量ったり、自分の感情をコントロールしたりすることに課題のあるAに対しての通級指導教室での授業実践についての報告でした。体育大会の写真からその時の自分や友だちの気持ちを思い出したり想像したりしながら物語を作り、在籍学級みんなに紹介した実践、ある絵本の登場人物の様子や気持ちを想像したことを文章やグラフにまとめ、それらを学級の道徳での教材としてみんなで学習を共有しお互いに考えを交流し合った実践を報告しました。通級指導教室での実践にとどまらず、在籍学級で発表したり考えを交流したりするなどして、学級との連携をも意識した取り組みでした。Aはその後、感情を爆発する場面は少なくなり、学級の友だちとの良好な関わり合いが増えたということです。その後、インクルーシブ教育をすすめるために活発な議論が繰り広げられました。保護者や本人の思いをどのように受け止め、どうむき合うかということなど課題が多いことも話題になりました。

☆第19分科会 メディア・リテラシー教育と文化活動 「小学校プログラミング教育における効果的なアプローチについて」

三方上中支部 鳥羽小分会 古田 宗吉 さん



プログラミング教育を学校全体でとりくむために、6年間で系統的な技能や知識をどのように身につけていくとよいのかを試行錯誤しながらとりくんだ実践報告でした。古田さんは鳥羽小学校のICT環境でどんな事ができるのかを考慮して学校全体をコーディネートしています。タブレットを使って「ビスケット」や「ピョンキョー」によるプログラミング教育を行いました。限られた予算の中で工夫をしているだけでなく、タブレット使用の習熟度は千差万別だったにもかかわらず、子ども達は自分のやりたいことを実現させるためにグループ内で話し合いをしながらプログラム作成に熱中していました。参加者の話し合いは「プログラミング学習を教科の中でどのように取り入れるのか」「学年によってどんなステップを踏んでどんな支援をしていくとよいのか」という点で議論が深まりました。「やってよかった」と実感できる楽しさを味わわせるためにも、子どもたちをその気にさせることが大事だという意見が印象的でした。「案ずるより生むが易し」という一言がこの実践を物語っています。

☆第21分科会 カリキュラムづくりと評価 「総合の時間における大野市物産販売活動の実践」

大野支部 尚徳中分会 土田 権一郎 さん



尚徳中学校では、地域貢献を柱にした教育を推進しています。昨年度より社会や人と関わることを通して主体性を育むことを目的として、総合的な学習の時間に修学旅行先の東京で地元の物産販売活動を行った実践の発表でした。今年は昨年度の実践を進化させて、物産を売るだけではなく、仕入れから学習をスタートさせました。その事によって生徒が自分の住む地域に関心をもったり、生産者の思いを販売活動に反映させる等の工夫が生まれたりして、生徒の学びが広がっていくのを教員が実感しました。活動を通して生徒が成長し、地域と生徒のつながりが強くなっていく様子に、参加者からは「地元にとずっと住むことだけが大切ではない。生徒が地元を離れたとしても好きだと思える郷土愛が育まれている」という声が上がっていました。

☆第23分科会 教育条件整備の運動 「多忙化解消のための働き方の見直し
 ~教職員の働く意欲を高め、生徒の自主性を伸ばす働き方改革~」

条件整備の運動

福井支部 清水中分会 山田 美鈴 さん



多忙化解消のための働き方の見直しとして、さまざまな取り組みが報告されました。校務分掌をスリム化し、スクールプランとの整合性を図る取り組みや、ミドルリーダーが中心となり校務部会に裁量権を持たせる取り組みなどで、会議回数削減、起案から実行までの時間短縮などの効率的な業務遂行ができるようになりました。「思っただけでもなかなか取組めないと思うが、なぜこんなことをしないといけないのかとの声は無かったのか？」との質問では、後に続く人がこれでは仕事をやりたがらないとの思いから、教職員の意識が強く変わったことが大きいとのことでした。また、地域・PTAへの協力依頼の報告では、「活動をする上で理解を得られないことや断りにくいことはないのか？」との質問があり、文句は全く出ず、学校だよりやPTA総会でも理解していただき、コミュニケーションが上手くとれているとのことでした。

☆第23分科会 教育条件整備の運動

司会者

福井支部 中藤小分会 伊達 薫里 さん



今春、ご退職の皆様へ

教職員共済は退職後もご利用いただけます！



自動車共済

車両共済 (車両保険)

火災共済
住宅火災等補償の火災共済
 自然災害共済

ケガ・事故・賠償
レスキュースリー
交通災害共済

一生涯ご利用いただけます！

90歳までご利用いただけます

トリプルガード
団体生命共済・医療共済

総合共済

退職後も学校関係に勤務される場合は、継続できます。

(重要)

「退職予定者説明会」に不参加だった方には、2月下旬に個人ファ
 イルを勤務先へ送付させていただきました。同封の「総合共済 継続
 連絡票」または「退職見舞金請求書」を必ずご提出下さい！

教職員共済生活協同組合福井県事業所
 〒910-0005 福井県福井市大手2丁目22-2
 (教育センター2F)
 TEL.0776-23-1334